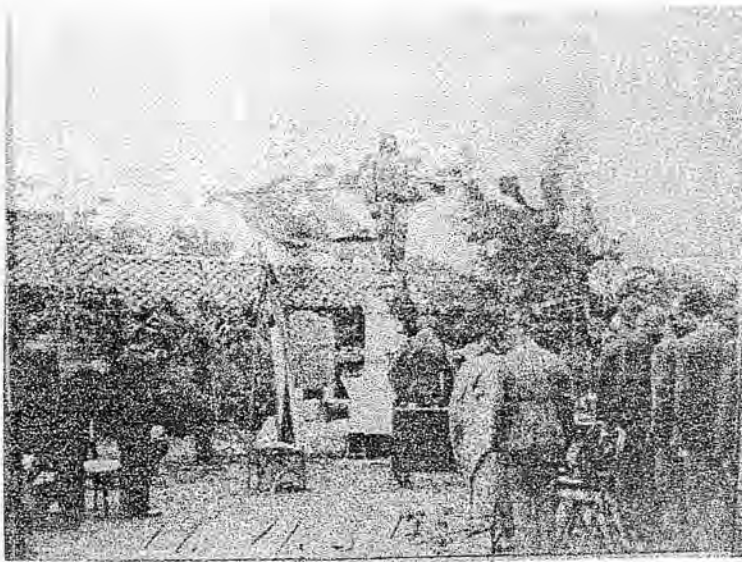


太平洋戦争開戦

「……帝国陸海軍は本八日未明、西太平洋において、米英軍と戦闘状態に入り」昭和十六年十二月八日、早朝、大本営発表がラジオから流れ出た。

戦端は、ハワイ・マレ半島など西太平洋の各地と、中国大陸で開かれた。空母六隻を含む、第一航空艦隊を主軸とする機動部隊は南雲中将に率いられ、米重要基地のある、ハワイの真珠湾を急襲して、米太平洋艦隊や、陸上施設に大損害を与え、山下奉文中将に率いられた、第二十五軍はマレ半島に上陸し、東太平洋に於けるイギリスの牙城、を目指して進撃を開始した。

福嶋出身の、朝日長章は真珠湾攻撃に出撃し、軍神と顕彰された。
浜校前に出撃の勇ましい碑が建てられたが、敗戦で無くなったのが、惜しい



開戦電文と真珠湾攻撃成功の電文

「新高山登れ」は開戦命令。「と……とら……とら」は奇襲成功電文

